

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鹿児島竜谷学園 NAMO・NAMOわこう		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用者は、鹿児島竜谷学園が経営する2つの園の子どもたちが中心であり、園との連携が取りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の送迎時に、園の担当者と十分な引継ぎを行い、情報交換を密にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、活動の様子を文書にまとめ園に提出するとともに、必要に応じてケース会議を開く。
2	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援の経験者による専門的な支援を提供でき、子どものニーズに応じた支援計画を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画作成時に、保護者の要望等を踏まえながら、適切な目標と専門的手立てを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部からOT、STなどを積極的に招へいし、より効果的な活動内容を設定できるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の周りに、文化・スポーツに関する施設等が点在し、所外活動の充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的経験を豊かにするための活動を、計画的に取り入れ、個々の課題を解決できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達に応じた施設等の活用を検討し、在籍園での活動と連動しながら内容を充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 開所間もないことから、保護者や地域への啓発活動が浸透していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業所の取組の様子を広く周知させるための情報発信が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNSなどを利用し、本事業所のPRに努めるとともに取組の充実を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> マンションの一室を使用しているため、十分な活動スペースを確保できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動面積の基準は満たしているものの、効果的・機能的な活用の工夫が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動室の狭隘さを、逆に生かすような場の設定、活動内容の工夫を重ねていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 在籍園との送迎体制の整備が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 竜谷学園内の子ども園のバスを利用して、送迎を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、事業所専用の送迎車を確保し、より利便性のある送迎を検討したい。